

第61次南極観測隊にインタビュー



はまのもとゆき

濱野素行さん

- 三菱電機所属。
南極昭和基地大型大気レーダー（PANSY）担当。
趣味は草野球、ジョギング。

南極観測隊に参加したきっかけはなんですか？

国内で通信機器の保守等の仕事に携わっていたので、南極で世界初の大型アンテナに関わる仕事ができるということに魅力を感じ応募しました。

国内で行っている業務は分業されていて、全て自分1人で行うことはありませんが、南極ではそうではありません。1人で全てをやり遂げないといけないところが大変ですが、魅力にも感じています。

第61次隊ではどんな研究やお仕事をされるのですか？何が楽しみですか？

365日24時間稼働している大型大気レーダー（PANSY）を常時チェックし、異常がないか保守点検を行います。保守点検では、東京ドーム3個分の広さに分散して設置している1045本のアンテナの状態をみて、調子が悪ければ交換したり、アンテナの周りや観測器を設置している小屋の除雪をおこなったりもします。また、天候に特別な事象があった時は、観測機器やプログラムの構成を変えて運用するなど、観測も行います。

今回3度目の参加ですが、南極では仕事も自然も全て同じ日はないので、楽しみにしています。



【大型大気レーダー（PANSY）】

一言メッセージをお願いします！

南極の地で、人知れず24時間365日動いているアンテナがあることを知ってもらえると嬉しく思います。